

研究課題名：造血器腫瘍患者の骨髄検体を用いた病理学的解析

平成30年3月14日

### 【はじめに】

近年、造血器腫瘍の発症、進展を支える微小環境の存在が注目されています。私達は最近の研究で、造血器腫瘍患者様では、腫瘍細胞を取り囲む「骨髄中の環境」が大きく変化していることを見つけました。そのメカニズムを解明すれば、腫瘍細胞そのものではなく、その周りの細胞を標的とする新しい治療法の開発につながる可能性があります。

そこで私達は、造血器腫瘍患者様より採取された病理検体を使用した研究を計画しました。骨髄微小環境を観察することにより、造血器腫瘍によって引き起こされる骨髄微小環境の異常を明らかにし、将来的には新しい治療法の開発に繋げていきます。なおこの研究は、東京大学医科学研究所倫理委員会の承認を得て研究機関の長の許可を受けて実施されます。

### 【対象となる患者様】

東京大学医科学研究所附属病院において1970年1月～2017年12月までに診療を受けた骨髄異形成症候群、急性骨髄性白血病、その類縁造血器腫瘍の患者様およびコントロールとして非血液疾患の患者様で、診療目的で採取された骨髄病理検体が保管されている方。

### 【方法】

造血器腫瘍患者様由来および非血液疾患患者様由来の骨髄病理検体を用い、骨髄微小環境を構成する骨芽細胞や血管などを対象とした各種組織染色を行います。また、造血器腫瘍の種類、患者様の年齢、移植の有無、使用した薬剤の種類、感染症発症の有無、転帰などの診療情報を参照し、病態による周辺環境の変化についての解析を行います。

### 【研究期間】

2018年 3月 14日（所長・病院長許可日）～ 2022年 3月末

### 【ご協力いただきたいこと】

ご協力いただきたいことは、すでに採取・保管されている骨髄病理検体と、診療情報（疾患名、患者様の年齢、移植の有無、使用した薬剤の種類、感染症発症の有無、転帰など）を本研究に使わせていただくことです。

### 【個人情報保護の方法】

診療情報を使わせていただくにあたっては、直接患者様を識別できないような登録番号を用いて匿名化を行います。登録番号と個人情報の対応関係を記した表（対照表）は細胞療法分野の鍵のかかる保管庫にて厳重に管理します。

### 【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者様の個人情報は厳重に守られますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。なお、他の研究者による研究成果の検証可能性を確保するために、東京大学医科学研究所では「東京大学医科学研究所生命科学系研究データ保存のガイドライン」を策定しております。これに基づき、発表後も試料およびデータを東京大学医科学研究所に長期間保存させていただくことをご了承ください。

### 【問い合わせ窓口】

この研究についての質問やご自身やご家族の試料およびデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合、あるいは、本研究への試料および診療情報の使用について辞退されたい場合、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書などの資料をご覧いただけますので（ただし、他の対象者などの個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲内で）、下記の窓口までご連絡ください。

東京大学医科学研究所  
先端医療研究センター  
細胞療法分野  
北村俊雄  
〒108-8639  
東京都港区白金台4-6-1  
TEL:03-5449-5759  
E-mail: [kitamura@ims.u-tokyo.ac.jp](mailto:kitamura@ims.u-tokyo.ac.jp)